

我國幼兒教育の功勞者

(前號の續き)

氏 原 銀

第九 野口幽香氏 東京市

東京女子高等師範學校の出身、學習院幼稚園に奉職其幼兒は、貴族的の子女で、多くは心身軟弱の傾きある點を、特に留意して保育に當られ、其境遇の婢僕を使役して依頼心ある習慣、又獨立心乏しき點に注意をなし。其保育法は、最も厳格の中に自由を與へ、其氣風を極平民的に、誠實主義を以て、將來紳士淑女たるの素質を養ふに努力せられ、其幼兒の依頼心を去らしめ、獨立心を養はん爲めには、入園最初より、保育場内に一切附添人を伴はしめず、之れは、普通の家庭の幼兒なれ

ば爲し易き事なるも、常に座右に召使を置く、貴族社會上流の子女境遇とし、中には堪へ難き者あり、之れ等の幼兒に對する、保育者の骨折は隨分苦心のもので、靜かな室内に於て、誠意溫情を以て能く説き聽かせ終に納得せしむ、之れは一例に過ぎざるも、斯の如く、貴族の子女に注意を拂はるる結果は、益々好成績を挙げ、其保育法には、一見式を有し、私の大阪に在職中は、屢々參觀して利益する處多かりき、尙其園の貴族的なるを以て、其幼稚園はいかめしく、如何に尊大なるものならんと、豫想して、參觀する者の、其園風の平民的なるは驚歎する處なり、尚氏は其參觀者の質

間に對して、懇切丁寧によく指導を與へられ、又適切なる意見を示さる事は皆喜ぶ所。氏は多年の功績により、叙勲の命を拜受せらる、尙氏は、自力を以て、貧民幼兒保育の爲め且其母の自活の働きを助くる爲め府下貧民窟鮫ヶ橋に二葉幼稚園と言ふを設置せられ、基督教の信仰厚き良保母により、保育に當らしめ其貧幼兒に對する其保母諸氏の獻身的熱誠は感涙の外なし現今此分園を新宿地方に新設せられたりと、斯く一方慈善的事業に貢獻せらるる事は實に感服の外なし、數年前學習院幼稚園を理想的に質素堅實なる新築をなして、成功後退職せられ市外に改良考案に成る住宅を新築せられ現今尙社會事業の爲めに盡瘁せられ、學習院幼稚園に殘されたる氏の功績美風は其後任者宇佐美敬氏によりて能く繼續せらる。

氏は日白女子大學の附屬幼稚園の主任者として熱心に從事せらる、氏は此園設立前永らく海外幼稚園の状況を視察せられ、其長所を取りて開園せられたるもの其外國語の力ある常に原書により、保育上の新知識を其保育事業の上に應用して、其保育は異彩あるものあり、又氏は高輪なる森村氏設立の幼稚園保育の指導者且監督者として一週中二三回は行かれ、溫容以て衆人に接せる熱心なる保育者にして、其保育法の参考に資する處多く斯界功勞者也

第十一 小磯 英氏 神戸市

明治二十年私立神戸幼稚園の設立者、小磯吉人氏の夫人にして同園保母として、明治三十一年市立神戸幼稚園となる迄熱心に保育に從事せられ、今日市立神戸幼稚園の益々發展して盛んなる基礎を建てられたる功勞者なり。此園は神戸市に於け

る最初の設立にして早くも此保育事業に着手せられたる御良人吉人氏の御盡力の程は大に感謝する處なり、尙氏は神戸市保育會長としても會務に盡瘁せられたりしも今は永眠せられ現今英子夫人は神戸市に在り。

第十二 横本 常氏

神戸市

東京女子師範學校の卒業にして、明治十七年岡山縣女子師範學校教員兼附屬幼稚園保母拜命、尙保母養成所も兼務せらる。之れ岡山縣幼稚園の創設者として赴任せられしもの今より四十年前の當時にありて、設備に要する凡ての供給品は悉皆大阪で調達する時代で、此遠き大阪に註文するに其到達の日子を費すの不便に堪え兼ね、氏は屢々自費を以て出阪用を辨ぜられ折り返へし歸岡せらるるを常とし、其疲勞の程を氣遣はるるものありし。斯く職務の凡てに對する熱心努力は着々功績を擧

げ其保育事業は發展其保母養成所終了者の縣下市郡に出でて首席保母となり十一ヶ所の幼稚園を開設するに至り功成りて依頤退職せられたり。

現今岡山縣下の保育事業は益々發展園數の増加せる盛況あるは、之れ全く昔時氏の努力によりて基礎を建てられたるもの斯の幼稚園創設上努力せられし氏に對し岡山縣保此關係者は大に感謝すべし次第なり、尚氏は明治二十年文部省より普通免許狀第一號を下附せらる。明治二十一年大阪府高等女學校教員拜命、尙大阪市立高等女學校附屬保母養成所兼務其後依願辭職夫れより、福岡縣女子師範學校教員兼舍監拜命、後病氣の爲め依頤退職せられ、其後病氣全癒して、明治三十二年兵庫縣神戸市立神戸幼稚園保母に任せられ五ヶ年にし

て、同縣神戸市立兵庫幼稚園園長兼保母に轉ぜられ大正十一年病氣退職せられたり、以上神戸幼稚園と兵庫幼稚園との在職の二十餘年間、神戸市保

育事業の爲めに熱心盡瘁せられ、又神戸市保育會の幹部に在て、其創立以來盡力せられ此永き在職中の多數の被保育者より盛大なる謝恩會を開催せられ、近畿多數の教育者の列席あり。實に名譽ある斯界の功勞者なり、現今神戸市に在住。

第十三 雨森 鈴氏 東京市

東京女子師範學校の卒業にして永らくあ茶の水幼稚園に從事せられ同園保育の改良及び特殊保育の方法を考案研究せられ特に特殊保育の實際を擔任して、良成績を擧げて其模範を示されたる功勞者なり。此特殊保育と言ふは普通の幼稚園に比し、

第十四 櫻川 以智氏 臺灣臺北州

あ茶の水保姆練習科の卒業にして、二十餘年前を設置する事の出來得ると言ふ考案を以て設置されたもので之れを分室と稱し、廣き一室内に幼兒五十人を一組とし、保姆一人で之れに當り此一室

が保育室と遊戯室を兼るもので遊戯の時は机を隅に方付け置く。保育時間を長くして、天氣のよい時は成るべく外に出て手技細工よりは自然物によりての工夫製作を利用する事を研究し、色紙を要する時は、保姆自ら染めた物を使用する様になし、又オルガンもなしに唱歌せしが保姆の努力により幼兒は能くうたひたり。此種の幼稚園設置の通牒が文部省より明治十七年に出でたり。以上の保育研究且實驗に當り模範を示されたる氏は功勞者なり、今は引退せられて或高貴家庭の教育指導を擔任せらる。

犠牲を拂つて領臺以來三十餘年を経過せる今日其臺灣人民中には皇恩の有難さを思はざる者あるを慨歎せられ、先づ幼兒期よりの教育により、融和を養ひ以て國家の爲め微力ながら盡さんものをと、専心銳意新領土の保育に精勵せられつゝあり、其園風の規律整へる事は列中に冠たり。氏の努力の程感心の至りなり。

第十五 下田 田鶴氏 東京市

東京女子高等師範學校の出身にして、永くお茶の水幼稚園に在職、保育上の組織保育法の改良等に付き分室擔任の雨森氏と共に盡瘁せられ、其他幼兒教育に關する研究に、又音樂殊にピアノの練習に、奮勵せられ保育上に資する處多く、殊に今日幼兒教育上唯一の雑誌發行の日本幼稚園協會の前身なるフレーベル會を設立せられ、最初は東京市内の保姆會合の機會を作りて互に研究發表し、

後地方に會員をも募り時々大會を催して、研究發表につとめ、尙會報を發行して、保育上の研究に資し、又夏期講習會を開催して、保育の爲めにする處ありたり。之れが今日日本幼稚園協會と改稱されたるもので、此基礎は氏によりて建てられたるもの實に氏は在職中雨森氏と共に茶の水幼稚園の功勞者及び日本幼稚園協會の前身設立に盡力せられたる功勞者なり。今は引退せられて家庭にありて社會事業に盡力せらる。

第十六 司馬 のぶ氏 京都市

京都市の幼兒教育の元老者として、今日氏の人あるのみ。京都市豊園幼稚園保姆として、多年在職。保育上の研究に熱心に殊に色彩に關する研究に成功、又京都市保育會の創設及び、京阪神保育聯合會の設立に盡力あり。其部内其被保育者の信用厚く盛大なる勤績紀念と謝恩會を開催して氏の

功勞に報いられ今は引退して京都市に在住。

一八

第十七 進藤 つる氏 甲府市

東京女子師範學校出身にして明治三十八年山梨縣師範學校附屬幼稚園廢園となりしを斯道のため惜むの餘り同市櫻町に私立進徳幼稚園を設立爾來二十餘年間の今日に至る保育に熱心なる功勞者なり。保姆養成をもなされ、其園は廣く庭園樹木多く、殊に葡萄棚の立派なるものあり。成果時は幼兒一同へ與へて喜ばしめ、花壇の手入れもよく行届き、氏は篤實者にして父兄よりの同情厚く其後他の幼稚園出來たるも入園幼兒は相變らず多く常に滿員の盛況なり。

第十八 望月 クニ氏 神戸市

東京女子高等師範學校卒業にして最初高等女學校に就職せられ後神戸市立神戸幼稚園長に就任せ

られ其研究的保育は益々發展赴任以來園舍の増築庭園の改造をなし、多數の幼兒は此處に満足の保育を受く。氏は大活動家にして保育上の研究に時代思潮の研鑽を怠らず、又縣下の教育的社會事業の團體、托兒所、婦人會、母の會等の講演に縣の内命により出演廣き縣下の事とて其場所に宿泊がけで出張せらるる事あり。此演出張は隨分頻繁で此不在中の園務は首席保姆の立派な敏腕家あり委ねるに十分なるも又氏の配慮を要するありて、此双方の勤務には隨分身心の疲勞を感じらるる處あるも能く此衝に當りて倦む事なく、尙神戸市保育會の幹部としても隨分多くの仕事あり。又縣の保姆検定委員を兼ね又時として大阪市其他より保育上の講演の依頼に應じ、又ラヂオ放送局よりも同様の依頼を受くる事度々あり。以上は其概要に過ぎざるも何れの方面も熱心以て當らるる事は實に感服の至りなり。尙保姆待遇を小學校教員同様

になされん事を其筋に運動の爲め多忙中態々上京

以上

せられて無資格者の爲にする處あり、有資格の氏にして斯く無資格者の爲に盡力ある其親切熱心は實に感心の外なし。

大正十五年帝國教育會より多年の功勞を表頌せられ昨年御大典に際し奏任待遇の命を拜せられ、本年六月縣命により米國に社會事業幼稚園事業取調の爲洋行せられ九月末無事歸朝せらる。氏の此の渡米に付て最も樂しく喜悦せらるる一事あり、

之れは其令嬢の米國に嫁し居られ先年最愛の男令孫の出生ありし、此親子久振りの御面會殊に初令孫を抱かれし事の歡喜の程は察上るも餘り有る次第なり。さて氏の米國視察は僅かの短日月なりしも氏の慧眼によれる視察は凡人の長年月に勝れるものある事を信ず、必ずや我保育界の爲めに好材料を獲得されたるものならん。實に氏は幼兒教育者として活動家なる功勞者なり。

終に臨み前記保育功勞者以外に永年月保育に從事せるも何の功績とてもなき氏原銀、膳眞規子、兩人の略歴は項末を汚すのみにて、何の價値なきものに付き省略す。茲に兩人、氏原は三十年間、膳は四十六年間の長年月を大したる過失もなく保育に從事する事を得たるは全く教育界諸氏の直接間接なる御指導と御援助による賜物なる事を謹で感謝す。

